

レンタルキャンピングカー「ジル」 設備等の使用方法 (マニュアル)

1. 運転について



普通車より少し車体は幅広で、高さは**3m20cm**ありますので、駐車場やホテルなどのアーケード等にぶつかる危険性があります。道路沿いにある立木・看板・ミラーなどにも接触する可能性がありますので高さには特に注意が必要です。

また、重心が高いため、スピードを出したままの急カーブは曲がり切れず横転する危険がありますので

スピードを抑えた運転が必要です。

(運行前の始業点検について)

貸渡し日は、当店にて始業点検してレンタル致しますが、2日目以降はお客様に始業点検をお願いしています。また、次の点は当店にて点検補充いたしますのでお客様は点検しなくてもOKです。

エンジンオイル補充・ウインドウウォッシャー液補充・バッテリー液補充・エンジン冷却液(クーラント)補充・エンジンベルト等の点検と交換

(レンタル開始時のキャンピングの装備と準備作業についての説明)

レンタル開始前には、当店においてすべての点検と補充を済ませてお客様にレンタル致しますのでご安心ください。(飲料水タンク・トイレ流し水・LPガスは充分な量を搭載してレンタルいたしますが、途中不足の時は補充してください。)

(1) エンジンスタートについて

この車は、ジーゼルエンジンですので、グロー(予熱)してエンジンをかけるシステムになっています。スタータースイッチ(エンジンスイッチ)をonにするとこの予熱表示灯(コイル線表示)が点灯し、完了すると同時に消灯しますので、この消灯を合図にエンジンを始動してください。

(2) ハンドルの位置調節

快適運転のために、ハンドルの位置を前後に移動できます。

(3) バック(後進)の注意

バックアイカメラ(モニター)が装備されていますが、このカメラにのみ頼らずに、事前に自分の目で後方確認をして、左右のサイドミラーも見ながらバック(後進)するとより安全です。補助者の誘導でのバック(後進)はより安全です。

ワンポイントアドバイス

駐車場等に駐停車する時は、出る時の事を考えて駐停車の場所を決めるのが賢明です。(前進で入って駐停車して、前進で出られる場所が見つかれば理想的な場所です。)

※バック(後進)は、出来るだけしない運転が安全運転になります。

(4) 走行時のスピード

スピードは、出そうと思えばそれなりに出ますが、急な凸凹があると車体が大きく揺れたり、ジャンプしたりして、車内の食器等の荷物が落ちたりしますので、ゆっくりドライブが適しています。

車間距離を充分とって走行すること、ゆっくり運転がキャンピングカーには適しています。

・ <オーバーヒートについての注意点>

長い上り坂が続くと、キャンピングカーは重量が3トン以上あるためにオーバーヒートする場合があります。高原の露天風呂・摩周湖への長い上り坂等は特にエンジンが過熱してオーバーヒートになりがちです。

ワンポイントアドバイス

(※一般車とちがってキャンピングカーは重量があるので、特に上り坂ではスピードが落ちます。このときアクセルを踏み込み過ぎるとオーバーヒートしてしまいます。一般車とちがい、上り坂ではスロー走行を守ればオーバーヒートしません。

登り坂が続く時はエンジン温度に注意し、**オーバーヒートして温度が上昇した時は、アイドリング状態(エンジンをかけたまま)で車を停車して温度が下がるのをしばらくお待ち下さい。**しばらくすると、冷却液が循環されて温度が下がります。

また、峠に到着後は、しばらくアイドリング状態でエンジン温度が下がってからエンジンを切ってください。

(5) オーバードライブ (ON・OFF) の操作について

通常運転では、ON で使用してください。

坂道の下りでは OFF して軽いエンジnbr레이크として使用してください。(長い下り道ではフットブレーキを長く使用しつづけると過熱して性能が落ちることがありますので、ぜひこれを使用してください。)

※このオーバードライブは、チェンジレバーがDの位置でのみ働きます。(詳しくは、車の取り扱い説明書をご覧ください。)

2、駐停車時について

(1) チェンジレバーの収納

チェンジレバーを左側(助手席側)に倒して収納できます。

長期駐車・キャンプ等で車をしばらく動かさない時に使用すると便利で安心。

※運転席、助手席の移動がし易くなります。

※これと併せて、サイドブレーキをかけておけば、2重のロックでより安心してキャンプできます。

(2) 車のドアの施錠について

① 運転席側を施錠すると助手席側も同時に施錠されます。(運転席側で開錠すると助手席側も同時に開錠されます。しかし助手席側では同時施錠はできません。)

② リアドアは、右へ回すと開錠、左へ回すと施錠できます。

※開錠した時にはキーを縦に真っ直ぐの状態にもどしてから抜いてください。

(3) トイレの使用について



トイレの汚物は、右側（運転席側）後方に収納されているカセットタンクに溜まります。トイレ本体下（便座の下）に汚物の溜まり状況が表示されるようになっていきます。（緑色から赤色表示へ） 満杯（赤色表示）になると廃棄しなければなりません。満杯になると重くて処理に苦労しますので、公衆トイレ・ガソリンスタンド等でチョット早めに廃棄してください。



「ワンポイントアドバイス」

① トイレは、昼間はできるだけコンビニ・道の駅・ガソリンスタンドなどで済ませて、夜間にのみ車内トイレを使用するのがいいと思います。

② トイレの汚水は、たくさん溜めると、廃棄する時、運ぶのが重くなりますので、まだ軽いうちに早めが、賢明かと思います。

③ 水洗トイレ流し水の補給は、トイレカセットの上には給水口（黄色）が有りますので、ホース等で給水できます。（お貸しする時は、満タンに給水しますので、利用者の方が給水することは無いと思いますが、長期間使用の場合等は、途中給水してください。）（※冬期は不凍液を入れて使用可能です。）

(4) 水タンクの補給などについて（※冬期間は使用できません。）



当キャンピングカーには、水のタンクが設置されていますので、キッチン・シャワーなどで水の使用が可能です。

タンクに満杯に給水して貸渡しいたしますが、途中不足となったときは、各利用者で給水していただくことになります。（車内での、ガス使用でのお湯・水の使用方法は、当日説明させていただきます。）

(5) LP ガス使用について



① 左側（助手席側）後方にLPガスが収納して有ります。LPガス（5K ボンベ）が入っていますので、タンク最上部にある緑色のバルブを左に約1回廻すとガスが電磁弁まで供給されますが、まだガス器具は使用できません。（バルブは全開する必要はありません。むしろ万が一の時に早く閉めれるように、1回転ぐらいで使用するのが良い方法です。）（※安全のため、ガス使用時は、LPガス収納ドアは開けたまま御使用ください。）



② 次に、集中スイッチパネルの左側に有る「ガスリモートスイッチ」の二つのスイッチをONにします。

これで、ガス庫の電磁弁が開き、ガスが各機器に供給されます。

・安全のため、ガス警報器が設置されています。

警報器が鳴りましたらガス漏れが発生しているおそれがありますが、※フマキラー・ヘアースプレー・香水等の溶剤に反応して、作動することもあります。このようなときは、いったん窓等を開けて、室内の空気の換気をおこなってください。

※以上がガス使用のための準備作業です、各ガス機器の使用方法は、次で説明します。

(6) ガスレンジの使用説明



(前段の準備作業が終わった段階からの説明です。)

① 火力調整ダイヤルを押しながら、炎マークまで左に回し、着火ボタンを押して着火させます。この時1回で着火しない場合は数回押しして下さい。「立ち消え防止装置が付いているため、1度着火しても消えてしまうことがありますので火力調整ダイヤルを5から10秒間押し続けます。」

ダイヤルから手を離しても炎が消えないことを確認してから炎の強弱をダイヤルで調節して下さい。

※使いはじめや、ガスボンベを取り替えた時、長期間使用しなかったときなどは、ガス管内に空気が入っていて、点火しにくい場合があります。このような時は、炎を近づけたまま、しばらくツマミを押し続けてください。

注意

- ・ガスレンジを使用する時は、ブラインド又は網戸を使用しないでください。
- ・走行中は、ガスの元栓を閉め、ガスレンジは使用しないでください。
- ・ガスレンジ使用中は、レンジフードを使用し、窓を開けるなど換気してください。
- ・風や煮こぼれなどで、火が消えることがあります。使用中はそばを離れないでください。
- ・ガスの臭いがしたら、ガスの元栓を閉じ、窓とドアを開け、十分に空気を入れ替えてください。この時レンジフードやルーフベンチレーターなど電気器具のスイッチを絶対に操作しないでください。スイッチの火花で爆発することがあります。
- ・ガスレンジ使用中の外出や就寝は、絶対にしないでください。
- ・ガスレンジ使用中は、レンジのまわりに、物を置かないでください。

(7) 温水ボイラーの使い方 (※冬期間は使用できません。)

① 温水ボイラー水を入れる。

・集中スイッチパネルの「ポンプ」スイッチを「ON」にし、キッチンの左側の蛇口のお湯ノブ(Hマーク)を開けて水がスムーズに出るようになれば完了です。

(※温水ボイラーをONする前に、必ずこの方法で水を入れる必要があります。)

② ガスの元栓を開ける。(LPガスの使い方を参照してください。)

(すでに、ガスの元栓を開けている場合は、次へ進む)

③ 温水ボイラーのスイッチを入れる。

(※①の水を入れることが済んで、はじめてここでヒーターのスイッチをONします。)

- ・温水ボイラーのスイッチは、集中スイッチパネルの右に有ります。
- ・スイッチを入れるとランプが点灯し、自動点火してランプが消えます。
- ・ガスボンベを入れ替えた時などは、ガス管内に空気が入っていて、自動点火しにくい場合があります。このような時には、もう一度温水ボイラースイッチを入れなおしてください。

④ 使い終わったら・・・

- ・温水ボイラースイッチを切る。
- ・ガスの元栓を閉じる。

注意

・スイッチを入れる前に、必ず温水ボイラー内に水が入っていることを確認することが大事です。空だきは危険です。

- ・走行中は、ガスの元栓を締め、温水ボイラーは使用しないでください。
- ・温水ボイラー点検口カバー部分に、燃焼用空気出入り口があります。熱くなりますので、触れたりしないよう注意してください。また、不完全燃焼の原因になりますので、ふさいだりせずに、通気を良くして使用してください。
- ・使用中異常を感じたときは、温水ボイラーの使用を中止し、すみやかに点検を受けてください。

(8) シャワーの使い方 (※冬期間は使用できません。)

- ・集中パネルスイッチの「Pump」スイッチをONします。(赤色ランプが点きます。)
- ・お湯を使うときは、前記の「温水ボイラーの使い方」を参照してください。
- ・シャワーのスイッチ(2か所)をまわして使用する事ができます。

※詳細は貸渡し時に説明いたします。

(9) 冷蔵庫の使い方



- ・冷蔵庫は、DC 12V・AC 100V・LPガスの3通りの方法で使用できます。
- ・冷蔵庫正面の操作パネル右部分がLPガスで、左部分がDC 12VとAC 100Vの操作に使用します。

① DC 12Vで使用する場合」(一番左に有る赤いスイッチです。)(エンジン駆動中のみ使用できます。)

- ・エンジンを始動します。
- ・冷蔵庫のDCボタンをON(上側を押す)します。(赤のパイロットランプが点灯します。)
- ・エンジンを止めると、冷蔵庫へのDC 12V供給が自動的に止まります。

(停止中やキャンプ中には、12Vでは使用できません。この時は、AC100V又は、LPガスを使用してください。)

- ・DC 12V使用中は、温度調整できません。(温度設定ダイヤルは働きません。)

②「AC100V電源で使用する場合」

- ・AC100V外部入力コードを接続した時に働きます。(接続の仕方は「AC100Vで充電する時」を参照してください。)
- ・冷蔵庫のAC100VボタンをON(上側を押す)します。(緑色のパイロットランプが点灯します。)
- ・温度調整つまみで必要に応じた温度セットをして使用ください。

②「LPガスで使用する場合」

① Pガスボンベの元栓を開けて、「リモートスイッチ」をONにします。(LPガスの使い方を参照)

② ガス点火スイッチ(一番右)(☆印)(オレンジ色)をON(上側を押す)します。(オレンジ色のパイロットランプが点滅を始めます。)(これが点火準備状態になります。)(*まだ、ガスが点火されていません。*)

③「ガス開閉つまみ」(ダイヤル型)を押しながら左へ回して「炎マーク」に合わせ、点火するまで押し続けます。(ガスが点火すると、パイロットランプの点滅が止まります。)(※ランプが消えてもガスが安定するまで、少しの間押し続けて下さい。)

※参考までに

(静かな車内で点火の音を聴くと「チ・チ・チ・チ・チ(点火している音)・ポーッ(着火した音)」と聞こえます。聞こえないときは、冷蔵庫を開けて庫内の音を聞くと、この音が分かり、着火が確認できます。)

※着火するとオレンジのパイロットランプは消灯します、着火しなかった時は再度点滅に戻りますので、再度着火をしておしてください。

- ・左側の「ガス開閉つまみ」で必要に応じた温度に調整します。
- ・使い始めのときなどは、ガス管内に空気が入っていて、点火しにくい場合があります。このようなときはしばらく「ガス開閉つまみ」を押し続けてください。
- ・炎が何らかの理由で立ち消えた時は、自動的に点火スパークが始まり、再点火しますので、ガス使用中は、点火スイッチをONのままにしてください。

「L P ガス使用を終了する時」

- ・ガス点火スイッチをOFFにします。
- ・「ガス開閉ツマミ」を右へいっぱいにもどします。
- ・「ガスマリモートスイッチ」を切ります。
- ・ガスボンベの元栓を閉じます。

<この外 冷蔵庫の使い方について>

「ドアロックと半開きについて」

- ・ドアは全開と半開きの状態でロックすることができます。それぞれの穴に合わせてノブを押し込むとロックになります。
- ・走行中などは、振動などで開かないように、ロックしてご利用ください。
- ・長期間使用しないときは、半開きにしてカビや臭気を防ぐことができます。

<注意>

- ・冷蔵庫の能力を発揮させるために、次のことを守ってください。
- ・車を水平にする。・・・冷蔵庫は、5度以上傾いていると冷えが悪くなるか全く冷えません。
- ・車の左側面を日影にする。・・・冷蔵庫背面に、日光をあてないようにすると冷えやすいです。
- ・予冷をしておく。・・・一晩程度、庫内を予冷しておくこと、冷え易くなります。また、中に入れる物をあらかじめ冷やしてから入れることをおすすめします。
- ・強い雨の時には、冷蔵庫背面の通気口から雨が吹き込むことがありますので、車の向きをくふうするなどしてください。
- ・冷蔵庫背面の通気口は、冷蔵庫を冷やすための外気口とガス冷却している時の、燃焼用の酸素を取り込む所でもあります。ふさいだり、中に物を入れたりしないでください。(一酸化炭素中毒や、火災の原因となります。)
- ・L P ガスでの使用中は、ときどき「ガス点火スイッチ」のパイロットランプが点滅していないか確認して使用してください。(消灯で正常に点火しています。)
- ・冷蔵庫を使い終わったら各スイッチを切り、ガスの元栓を確実に閉じて下さい。
- ・走行時には、ガスの元栓を確実に閉めますのでL P ガスの使用は出来ません。
- ・L P ガス使用中は、時々換気しながら御使用ください。

(10) L P ガス燃焼ヒーター(F F ヒーター)の使い方



- ・このヒーターはL P ガスを使用する温風暖房機です。
 - ・車室内の空気を全く汚すことなく安全で快適に使用することができます。
- ①運転操作の方法
- ・先に説明の、L P ガスの準備をします。

②点火の操作

- ・温度調節ダイヤルを10に合わせます。
- ・ダイヤルを押し下げるとガスが供給されて、ガスを点火させます。
- ・スパーク音が小さくなるまで数秒間押し続け、離します。これで着火します。
(点火するとスパーク音がなくなるので前面の小窓にて着火を確認してください。)
- ・温度調節ダイヤルを回して温度を調節します。
- ・ファンスイッチ (右上: ボイラースイッチの上) をONにして使用下さい。

停止 温度調節ダイヤルを「0」に戻してください。(これで消火になります。)

注意 ヒーター運転中は、メインスイッチ (バッテリースイッチ) をONしたままで使用してください

※メインスイッチを切るとすべての12Vが使用できなくなりますので、ガストーブも消火となります。

(11) ブレーカーについて

サイドシートの右下にブレーカーがあります。外部電源 100Vを接続した時はONにして下さい。車内でも100Vが使用できます。

AC100V電源について

・オートキャンプ場などで、外部AC100V電源が取れるときは、この方法をおすすめします。

- ① サブバッテリーが自動的に充電されます。
- ② 冷蔵庫が100Vにて冷却できます。
- ③ 室内ACコンセントで電気が使用できます。

※この100V外部電源の接続コードの取り扱い方法は、当日説明いたします。

(12) 集中スイッチパネル



集中スイッチパネルには、左から

- ・ガスリモートスイッチ (2重のスイッチです!)
- ・バッテリーチェッカー (サブバッテリーの充電状態の目安となります)
- ・水タンクレベルメーター
- ・12V各機器のヒューズ
- ・ポンプスイッチ

・温水ボイラースイッチ 等が配置されています。(詳細は貸し渡しの際説明いたします。)

(13) 照明器具の使い方は、省略します。

(14) シャワールームベンチレーター(換気システム)の使い方についても省略します。

(15) ルーフベンチレーター (室内換気システム) についても省略します。

(16) テレビ・テレビアンテナの使い方についても省略します。

(17) 給水の仕方についても省略します。(貸し渡しの際説明いたします。)

(18) 排水の仕方についても省略します。(貸し渡しするとき説明いたします。)

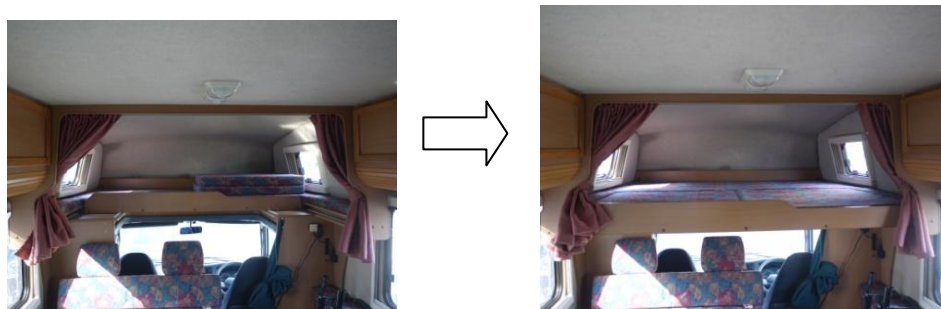
(※冬期間は、凍結防止の為、排水タンクは使用できません。ただし、シンク(流し)の排水だけは、排水管を別の20Lポリタンクに排水するようにして冬季間も使用できます。)

(19) トイレの使い方・給水の仕方・汚物タンク排出の仕方は、引渡し時に説明します。

(20) リクライニングシートの使い方についても引き渡し時に説明します。



(21) テーブルの使い方・バンクベットの作り方についても引渡し時に説明します。



(22) 収納庫の使い方・ステップボードの使い方も上に同様です。

(23) サイドオーニングの使い方・リアキャリアの使い方についても上に同じです。

(24) スペアタイヤ・ジャッキの取り出し方については、省略します。(別紙車の説明書あり。)

(25) インバーター(DC12→AC100)を装備していますので、エンジン駆動時に200wまでの100v電源が使用できます。(携帯電話の充電にお使いください。)説明省略します。

(26) 最後に「キャンピングカーを運転する時の注意点」を記しておきます。

①出発の際は、以下の点を確認の上、運転をはじめてください。

※外部後ろの100ボルト差込プラグを抜いてコードを収納したか。

※ガスボンベの元栓をしめたか。

※各収納庫を収納しロックしたか。

※荷物は確実に固定したか。(バイクキャリア・スキーキャリア等)

※サイドオーニングは、収納したか。

※ハネ上げ式ウィンドウは、閉めたか。(シャワールーム)

※ドアはロックしたか。

以上、初めてキャンピングカーを利用する方への予備知識として、取り扱い説明書の抜粋で作成してみました。参考になれば幸いです、また、説明不足な点、疑問点などありましたら、問い合わせくださいませ、ご利用をお待ちしております。

2014. 5. 14 作成

レンタルキャンピングカー「オアシスポイント」：代表 武田 康行